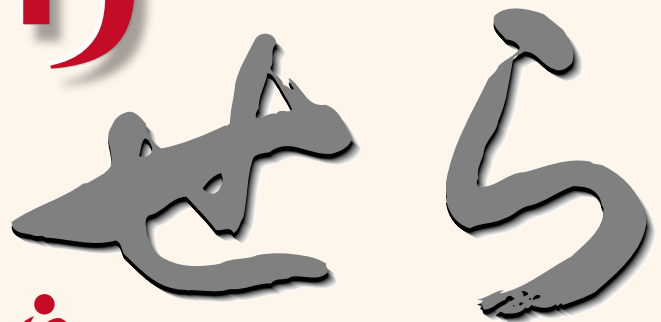




桜の下にて（大田保育所）

議会だより



世羅町

No.2

平成17年5月15日発行

■今月の主な記事

- 平成17年度予算決まる …2P～3P
- 議会審議 ……4P～5P
- 一般質問 ……6P～16P
- 委員会報告 ……16P～19P
- クラブ訪問 ……20P

主な記事

づくりにまず着手 事業にたくす

平成十七年度一般会計当初予算決まる
総額一五億二千万円

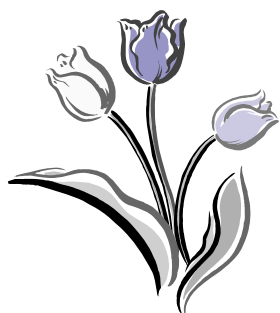
緊縮予算のベルが鳴る

3月定例会は、3月2日から22日までの会期で開かれました。定例会では、平成17年度世羅町一般会計ほか、6特別会計予算、上水道予算と公共下水道予算。平成16年度世羅町一般会計補正予算、4特別会計補正予算、上水道と公共下水道並びに特定環境保全公共下水道会計の補正予算が上程され、付帯決議のもと原案どおり可決されました。

知恵と力の結果で 新町基盤づくりに全力疾走

法定協で示した財政推計計画より、大幅（36億）に削減し提出された予算審議に議会特別委員会を設置し、4日間にわたり審議、財源不足の中とはいえ、福祉サービスの切捨てに住民の理解が得られるのか、住民とのコンセンサスがとれていない実態、事務事業の効率化、巨大化する人件費の抑制等議論はく熱する中、世羅町中学校通学費の助成、甲山保健福祉センターリハビリプール施設の廃止条件等町より撤回議案が提出され、特別委員会として付帯決議5項目を附して本会議に望む。

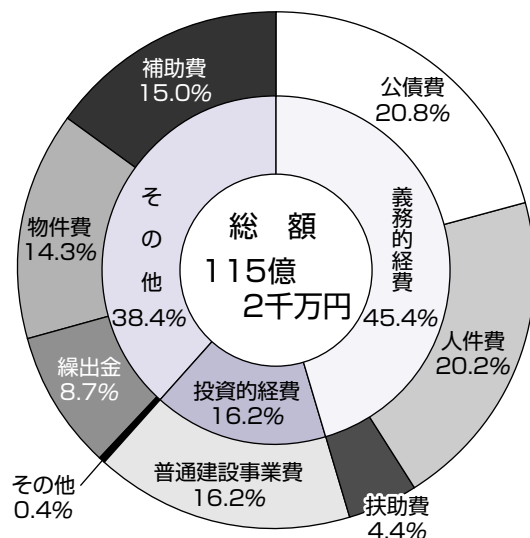
採択の結果、17対4で賛成多数で平成17年度予算案を可決、財政状況は非常に厳しく、町税の伸びも期待できない中で福祉医療などの社会保障費の増加、公債費の高どまりなどによって、町財政は危機的状況にあつて、財政再建が今、最大の課題である。財政健全化計画を早期に策定、実効性ある行財政改革をめざさなければならぬ。新町基盤づくりに総力をあげて、全力疾走である。



財政硬直化で合併時の予算を大幅に軌道修正 新年度町財政運営

住民と協働のまち 活性化を農業公園

一般会計当初予算案の性質別構成



主な事業（単位：千円）

- 住民自治意識の高揚と自治組織の強化のため財政支援 ……………13,724
- 農業公園の整備、ぶどう施設事業、18年開園にむけて事業の推進 ……………397,000
- デジタルバйд解消、情報基盤の調査費 ……………10,000
- 北部分署世羅西出張所の整備 ……………60,000
- 畜産振興費 ……………340,000
- 町道22路線の改良 ……………610,000
- 商工業の振興費 ……………28,000
- 交通システムとして
デマンド交通システム調査事業 ……………3,500
- 中山間直接支払事業 ……………223,000
- 世羅町管内図作成業務 ……………33,500
- 旧世羅庁舎改修工事 ……………53,500

付帯決議

- 1) 本町の総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想（地方自治法第2条第4項）を早急に策定され、その内容を住民に示されたい。
- 2) 本町の町づくりの実施計画である「過疎地域自立促進計画」（平成17年度～21年度）を可及的速やかに樹立されたい。その際、計画された事務事業が確実に遂行されるための行財政計画を明らかにされたい。
- 3) 本町を取り巻く社会、経済及び財政環境は、極めて厳しく憂慮する状況にあり、行政組織の改革、事務事業の効率化・経費の節減及び執行者・行政職員の意識改革が急務である。数値目標による計画的な具体の対応策を示されたい。
- 4) 平成17年度の予算執行に当たり、事務事業の目的、主旨に則って住民への説明責任を果たし、住民とのコンセンサスを得て、住民との協働により一層の効果が発現されるよう鋭意推進されたい。
- 5) 平成17年度予算の審議の過程において、指摘した事項については今後の行政執行に確実に反映されたい。